

第6回 理事会

日時：令和4年9月13日(火)13:00~16:00

場所：学会事務局(Web会議併用)

出席者：長田会長(議長)、清水副会長、北田副会長、
末永常務理事、池見、稲垣、太田、大谷、大津、笠、
佐々木、竹村、徳永、西山、長谷川(淳)、
長谷川(信)、平野、舩山、升元、三田村、村上、
和田各理事、緒方監事
欠席者：小俣、林、三好各理事、野村監事
(理事25名中22名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

1. 前回議事録の確認

- ・令和4年7月26日開催の令和4年度第5回理事会の議事録案について、承認した。

2. 審議事項

1) 会員状況の確認

- ・事務局長から9月13日時点における会員状況について説明があり、14名の入会を承認した。
- ・9月13日現在、正会員1,827名、学生会員44名、名誉会員65名となり、総数は1,936名であることを確認した。

2) JIS改正委員会への委員の推薦について

- ・常務理事より説明があり、審議の結果、本学会から「JIS A 0206 工学地質図改正案作成委員会」委員として佐々木靖人会員(土地地質研究部会長、理事)を推薦することについて承認した。
- ・標記委員会で策定された工学地質図については、実際には公共事業を含めて一般に利用されておらず、改正にあたっては普及に向けた検討も必要ではないかとの意見が出された。

3) 今年度研究発表会のハイブリッド開催方式について

- ・担当理事より説明がなされ、審議の結果、ハイブリッド開催のために会場に設置する必要のある会場音声ミキサー2台を購入することについて承認した。
- ・ミキサーについては、10月の研究発表会の前に関西支部で試用することとなった。
- ・大人数のアクセスのためのZoomライセンスについて、今後購入を検討する必要があるのではないかとの意見が出された。

4) 来年度研究発表会の会場について

- ・担当理事より説明があり、審議の結果、令和5年度の研究発表会会場は「あきた芸術劇場ミルハス」を第一候補として予約すること、来年度の10月に同会場が3日間連続で予約可能な10月4~6日に開催することについて承認した。
- ・村上理事より、来年度研究発表会の準備状況につい

て説明があった。

今年度10月3日までにエントリーを行い、10月6日に会場の使用可否が決定すること、秋田観光コンベンション協会に申請することにより、県外参加者×1,000円の補助が出ること、意見交換会は会場近隣の施設が利用できること、特別講演や見学会等で秋田大学と連携していくことが紹介された。

- ・今年度会場使用料を支払う必要があるが、支払いは本部により行うことが確認された。

3. 本部からの報告事項

1) 収支状況

- ・事務局長より説明がなされ、令和4年5月の収支について、単月で黒字となることが確認された。
- ・今年度4月より新会計ソフト「SMILE」を導入し、これに伴い会計取りまとめが遅れているものの、次回理事会までに鋭意取りまとめ作業を進めることが報告された。

2) 将来構想検討特別委員会からの検討事項の要請について

- ・常務理事より説明がなされ、現在、将来構想検討特別委員会で検討している若手・女性の入会勧誘・積極的活動支援に関する方策のうち、理事会において検討を要する項目について内容が確認された。各検討項目についてのコメントは以下の通りである。
- ・入会メリットについては、現状ではホームページが内部(会員)向けの情報が多いことから、非会員向けに、本学会の特徴である実務に直結している特徴を生かした学会のPRに関するコンテンツを導入してはどうかとの意見が出された。また、若手会員向けに、研究発表会以外の横のつながりを作る企画をしてはどうかとの意見も出された。中国地質大学では、専門に関して不明な点があればチャットで答えるサービスがあることが紹介された。
- ・所属機関での若手・女性入会促進については、中小地質調査会社などでは、若手・女性が少ないことから、一企業で育成するのではなく、関連企業(業界)全体で育成することが必要であり、これを助成してはどうかといった意見や、応用地質学履修後社会に出ると、たいいてい実学が必要となることから、実学を学ぶ上で学会がサポートできないかといった意見、学会に関連する企業の取組みを学生にアピールする場を提供してはどうかといった意見が出された。
- ・日本地球惑星科学連合(JpGU)に参加する若手に本学会を紹介することについては、来年度実際に実施されるものの、再来年度以降継続して実行する方策を検討した方が良いとの意見が出された。
- ・学生や若い世代の会費減免については、会費を減額

あるいは無料にしても、相応の会員増が見込める保証がない点を踏まえると、本学会がカバーする業界の幅を広げる必要があるのではないかといった意見や、関連する業界で本学会が技術的にサポートできる受け皿として認知されていないのではないかといった意見が出された。これに関連して、本学会がどのような学会と連携するのが良いか検討する必要があるのではないかといった意見も出された。

3) ジオメリットポスターについて

- ・担当理事より説明があり、ジオメリットポスターの活用として、来年のカレンダーを制作し、会員に配布するとともに、今年度研究発表会にてポスター展示することが確認された。
- ・佐々木理事より、昨年度ポスターを作成した経験から、「無断複製・販売を禁ずる」旨や学会ホームページへのQRコード、学会の説明文章を追記してはどうかとの意見が出された。
- ・将来構想検討特別委員会が検討している「大学での講習会」に当該ポスターを利用する際、pdfファイルで配布を行う場合には、SNS等で無制限に拡散することが懸念されることから、著作物作成者に対して、使用目的と使用方法を明示した使用許可を再度得る必要があることが確認された。

4) 先端技術ワークショップトラブル対策マニュアルについて

- ・担当理事より説明があり、引き続きマニュアルをアップデートしていくとともに、必要に応じ理事会で共有することが確認された。

5) 若手研究発表会に関するアンケートについて

- ・担当理事より説明がなされ、本アンケートについては、会員のみならず、非会員にも回答できるようにした方が良いとの意見が出された。
- ・アンケートの結果に基づき若手研究発表会が開催されることになった場合には、若手の横のつながりを作っていくための企画を検討した方が良いといった意見や、開催する場合、なるべく今年度中に開催できるよう進めた方が良いといった意見が出された。

6) SNSフォトコンテスト結果について

- ・担当理事より説明があり、現時点で受賞者、選外の方への連絡ができない状況であることが確認された。

7) 今年度フォトコンテストの募集について

- ・担当理事より説明がなされ、近年は写真撮影のプロからの応募が多いため、是非会員にも応募を呼び掛けてほしい旨、要請があった。

8) 土木学会・地盤工学委員会図書出版記念合同講演会について

- ・常務理事より説明がなされ、稲垣理事より、参加登

録締め切りが9月20日であり、参加していただきたいとの依頼があった。

9) ぼうさいこくたい2022について

- ・常務理事より、標題の説明がなされた。10月22日の開催であり、稲垣理事による講演がある旨紹介された。

10) 他学協会からの依頼

- ・常務理事より、地盤工学会北海道支部が発行予定の「北海道の地盤と防災」への図表の転載、ならびに沿岸技術研究センターが発行予定の「洋上風力発電設備に係る海底地盤の調査及び評価の手引き」への引用・図表の転載について、総務委員会にていずれも受諾したことが報告された。
- ・常務理事より、埼玉大学研究機構 レジリエント研究センター「“彩の国”市民科学オープンフォーラム」への後援について、総務委員会にて受諾したことが報告された。
- ・常務理事より、日本科学協会「笹川科学研究助成」の募集について、紹介があった。

11) 日本学術会議の補欠会員の任命について

- ・常務理事より説明があり、日本学術会議において5名の補欠の会員が任命されたことが確認された。

4. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

1) 総務委員会

- ・常務理事より、9月7日開催の委員会議事録案、8月2日開催のCPD連絡会の議事録案が提出された。
- ・現在総務委員会内協議事項として、支部運営規程の改定、定款・規則の改定に関する議論が紹介された。また、第1回CPD連絡会が開催され、CPDの申請・登録フローを取りまとめている状況が紹介された。

2) 事業企画委員会

- ・担当理事より、8月30日開催の委員会議事録案が提出された。

3) 研究企画委員会

- ・担当理事より、6月29日開催の委員会議事録、9月7日開催の委員会議事録案が提出された。
- ・現在の協議事項としては、先端技術ワークショップ、ジオメリットポスターであること、および廃棄物処分・利用における地質環境に関する研究小委員会(第V期)の設立に向けた検討状況が紹介された。

4) 選挙管理委員会

- ・常務理事より、8月1日開催の委員会議事録案が提出された。
- ・代議員選挙に向け、順調に作業している旨、報告された。

5) 将来構想検討特別委員会

- ・常務理事より、9月9日開催の委員会議事録案が提

出された。

- ・若手、女性への取り組み、アウトリーチ活動WGの活動状況、Facebookへ掲載する情報、30-50年後の将来に向けた構想検討について議論していることが紹介された。

6)教科書執筆特別委員会

- ・常務理事より、8月16日開催の委員会議事録案が提出された。
- ・教科書作成に向け、目次案の検討を行っていることが紹介された。

5. その他

- ・会長より、大学では実施例のある「Education path」を示すような取り組みを学会で実施することができないか、との問題提起があった。
- ・次回は10月13日12:00～、研究発表会会場である関西大学及びWebで開催することとし、近日中に11月以降の理事会開催日程について調整することとなった。